

癌化学療法プロトコール

氏名: \_\_\_\_\_

ID: \_\_\_\_\_

体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **FOLFOXIRI+ベバシズマブ**

対象疾患 切除不能な大腸がん

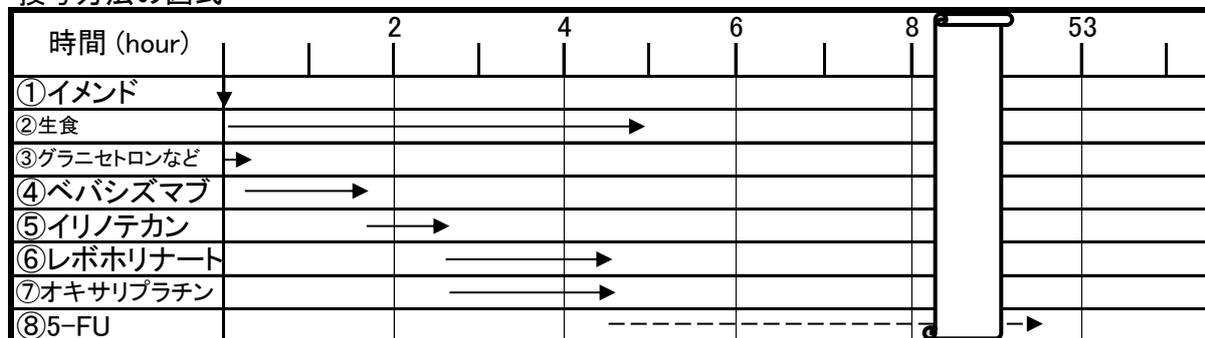
診療科 外科、消化器内科

施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			1日目をCPT11開始1時間前に服用
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分で点滴静注
	デキサート	9.9mg/3mL(3A)			
④	ベバシズマブ	5mg/kg		生食100mL	特記事項参照。
⑤	イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>		生食250mL	1時間点滴静注
⑥	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>		5%糖液250mL	2時間点滴静注
⑦	オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>		5%糖液250mL	2時間点滴静注
⑧	5-FU	3200mg/m <sup>2</sup>		生食	48時間持続静注

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

1クール14日間。

4 特記事項

- ・ ベバシズマブは初回90分、2回目以降は60分、3回目以降は30分に短縮可能。
- ・ 携帯型ディスポーザブル注入ポンプの調製は換算表を用いて生食の充填量を計算する。